

会 議 録

会議の名称	第2回飯塚市男女共同参画推進委員会
開催日時	平成27年7月3日（月）14:00～15:51
開催場所	男女共同参画推進センター 3階 技能向上室
出席委員	梅野麗子委員、川原利三委員、萬田喜利委員、久原千景委員 佐藤祐子委員、久田幸子委員、白瀧登美子委員、奥野美代子委員、 梅野政則委員、村山ふみ代委員
欠席委員	今中啓喜委員、木ノ原元美委員、白石リヨ子委員、畑中规一委員
事務局職員	男女共同参画推進課長、企画担当主査、業務係長
会議内容	<p>1. 開会</p> <p>2. 【議 題】</p> <p>（1）第2次飯塚市男女共同参画プラン策定に係る市民意識調査について < P 6 問 10 まで事務局より説明 ></p> <p>Q：質問、意見はないか。</p> <p>Q：問10のどこをどう訂正するのかの結論は。</p> <p>A：男女が共にワーク・ライフ・バランス、を男女が共に仕事と家庭や地域活動を両立できる、に変更したい。男女が共に仕事と家庭を両立できるワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）</p> <p>Q：配られた資料からさらに修正があるということか。</p> <p>A：そうです。</p> <p>Q：男女が共に仕事と家庭や地域活動を両立できる、それがワーク・ライフ・バランスか。</p> <p>A：現行プランの中でもそういうふうに説明しているので。</p> <p>Q：ワーク・ライフ・バランスにカッコ書きがあるのは文章として良くないのでは。2つの言い方があるのか</p> <p>A：現行プランでそういう言い方をしている。</p> <p>Q：文章としておかしいのでは。カッコ書きが無くても良いのでは。</p> <p>A：男女が共にワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）、ではどうか。</p> <p>A：質問に答える人がこれで意味が分れば良いのでは。</p> <p>A：回答される人がこのような勉強をしていない人だと思うので、仕事と家庭の両立という言葉のほうが一般的で回答しやすい。</p> <p>A：男女が共に仕事と家庭や地域活動を両立できるワーク・ライフ・バランスを実現していく、ではどうか。</p>

A：賛成です、一番分かりやすい。

Q：問9はいいですか。

A：なければ次に。

Q：冊子の46ページ、選択肢の中にその他とあるので家庭や地域活動などとした方が良いのでは。

A：「など」を入れる。

Q：などを入れると逆に分かりにくくなるのでは。

A：プランの43ページに記載がある。ボランティア活動という言葉があるので、などという言葉に含まれるのでは。

A：これから地域でデイサービスとかもあるのでそれも地域活動になると思います。

< P 7 問 11 から事務局より説明 >

Q：最後の所まで説明を頂きました。意見はないか。

Q：10 ページの問 18、イに文化的に作られたとカッコを入れる理由は何か。

A：前は社会的性別となっていたがこちらに修正という意味です。

A：カッコの中に挿入してもらったということですね。

Q：8 ページの問 13 のセクシャルハラスメントは定義が広い、これでいいのか。

A：ハラスメントはいくつかあるが、ここでは性的嫌がらせを受けたことがあるかどうかの問いで、これで良いと思う。

Q：そこまででいいのか。DVの所で警察に相談したとあるが、それと同じように対応するようにしなくていいのか。飯塚市の条例の中にセクハラも人権侵害で訴えることができると謳ってあるので。

A：次の踏み込んだ質問も必要ではないかということか。

A：そうです。

A：セクハラを受けたけど相談しなかったという意見もあってよいのでは、という意味で。これだとDVは重要でセクハラは重要ではないように見える。

A：必要であれば次の審議会で検討する。

Q：問 13 の設問の意図を教えてください。DVについての設問と同じように手法にしてはどうか。

A：今の意見を受けて事務局の方で訂正を考えてもらう方向でよいか。

A：はい。

Q：DVとセクハラの設定の選択肢は同じで良いのか。同じで選択肢が良いなら前の形に戻す方が良いのでは。DVの相談なのかセクハラの相談なのかはクロス集計で分かるので。

A：集計で別々にデータが見られるのであれば今のように難しくしなくても良い。DVとセクハラは違うということを市民にもきちんと捉えてもらいたい。

A：設問を残す位置づけをどうするか。

A：DVとセクハラは違うから、面倒でも別にすることに賛成。

A：切り分けて同じ選択肢にしたい。

A：切り分けて、訂正が入るということですね。

<資料3・1～3について事務局より説明>

Q：質問、意見はないか。

Q：プランの後期計画を見直した時、取り組みだけを見直すという制約のあるものだった。2年間の間で見通しを提示していただきたい。

A：意識調査を行い、まとめ考察を行って来年の1月に骨格を示し、審議して頂くという手順で考えている。

A：アンケートも一過程、その全体構想を出してほしい。プラン完成までの。

A：1月の委員会でお示しする。

<資料3・4～6について事務局より説明>

Q：プランのスタイルや評価の仕方も変わってくる。次のプランでは到達目標を設けてはどうか。

A：目標設定できるものは全てしていくのが基本方針。

A：「調査項目」についてその2についてもう少し詳しく回答が欲しかった。意識調査で課題を見つけて目標設定をし、施策に移っていくのだろうと思う。

<ルビについて事務局より説明>

Q：ルビを振ってほしいという意見もありました。サンプルを出して頂きましたが質問、意見はないか。

Q：3ページ増えたということだがコスト面での負担はどうか。

A：予算内になります。

Q：全てにルビ打ちが終わっている状態ではないのと、今日修正がかかる分と含めていくと今の15ページよりも増えていくということはあるのか。

A：予算内で可能だと考えている。

Q：紙面の割り振りで見にくくなる面も出てくるかもしれないが、皆さんの意見次第ではルビ打ちも可能だということだが、意見はどうか。

A：行間が広がるので読みやすい。回収率も上がると思う。予算内で納ま

るのならルビ打ちでお願いしたい。

Q：ルビがあった方がいいかなとは思いますが全部ではなく難しい言葉だけではどうか。

A：できるがどこで線を引くかが難しい。

A：まんじゅうとパンみたいな気がする。最近受けたアンケート2件のルビは無かった。日本の教育を受けた人なら大体分かるだろうと思った。ルビがあることで重く感じた。

A：人権問題に関わる調査ではルビ打ちになっている。男女共同参画ではほぼルビ打ちは無いらしい。100%の市民を網羅することはできない。事務局としてはルビを振らない考えだが、審議の中でルビを振るということになれば対応する。

A：前はルビを打ったものを見てみたいということだった。

Q：比較検討をする為に作って下さいという意見もあった。ルビ打ちが必要という意見もあった。委員の皆さんの意見はどうか。

A：ルビ打ちがある方がいい。高齢者は読めない、書けないという。問6は次のページと一緒にするなどの配慮もお願いします。

Q：まだ全部ルビを振っていないのでページ繰りは変わってくる、問6がそのようにできるかは分からない。絶対必要だとなれば重要視しなければならないが、意見はどんどん出して下さい。

A：ルビを振った方が分かりやすいというのと、かえって分かりにくいというのと2つ意見がある。講演会などの手話通訳は該当者が居られようが居られまいが通訳される。一人でも二人でも居れば必要だということになるのでどこで線を引くか。アンケートとプランは違うと思う。アンケートは隅から隅まで答えて頂くにはどうしたらよいか、ということではないか。

Q：どこで線を引くかという意見ですがどうか。

A：予算以内であれば良いのでは。

A：ルビはあった方が良い。

A：アンケートをもらった人がやりやすい様に。

Q：ルビを全部振ったら今15ページのものに20ページになることはあるのか。

A：今全部ルビを振っても15ページで納まると考えている。

A：必要な所にだけ振るという意見もありましたが、15ページで納まるなら付けた方が良い。

A：13日の委員会で全部ルビを振ったもので最終案として提出したい。

A：ルビを打った市民意識調査でお示しを頂くということです。

Q：資料3の6について深く分析した答えが欲しい。6の質問は重要。

A：一つ一つの設問がどこに結びついていくかをはっきり示していないか

	<p>ら分かりにくいと言われている。次の委員会でお示ししたい。</p> <p>Q：将来的に 20 問の設問は骨組みとして大事と捉えているのですね。</p> <p>A：現段階で考えられる重要なのは、現行プランの 1～6 と考えている。 1～6 については意識調査で網羅していると考えている。</p> <p>A：次回は後期プランの進行管理の資料を出して頂くことになる。</p> <p>A：次回 7 月 13 日 14：00、4 階入札室にお願いします。市民意識調査の最終案と進行管理報告書をお渡ししたいと考えています。</p>
会議資料	<p>① 次第</p> <p>② 資料 1－1・男女共同参画に関する市民意識調査票</p> <p>③ 資料 2・男女共同参画に関する市民意識調査の質問票での意見一覧</p> <p>④ 資料 3・男女共同参画に関する市民意識調査の質問の一覧と回答</p>
公開・非公開 の別	<p>① 公開 2 一部公開 3 非公開</p> <p>(傍聴者 3 人)</p>
その他	